

経営比較分析表（令和6年度決算）

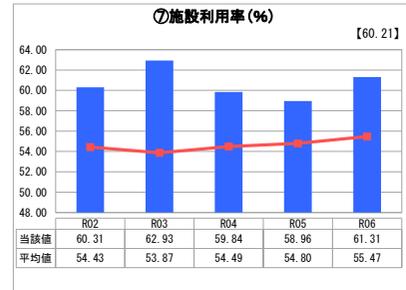
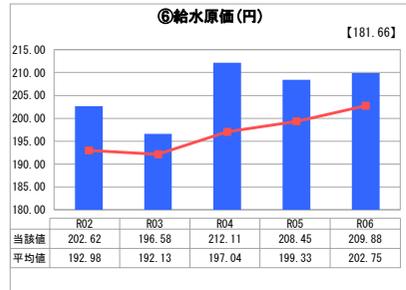
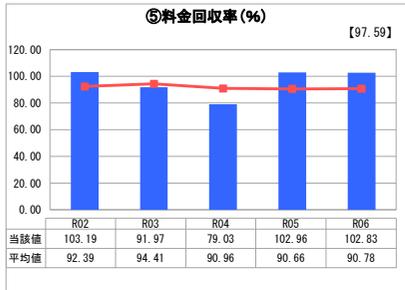
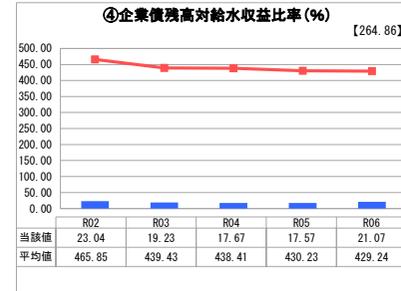
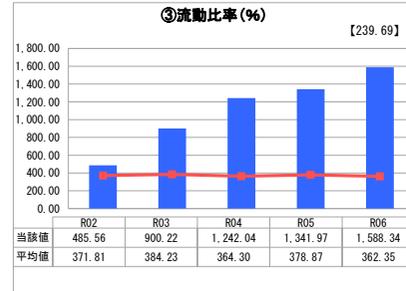
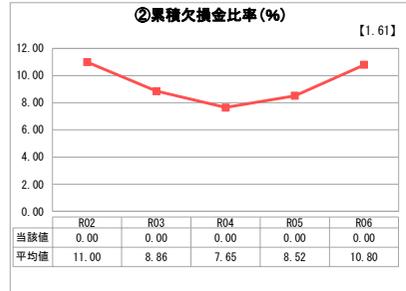
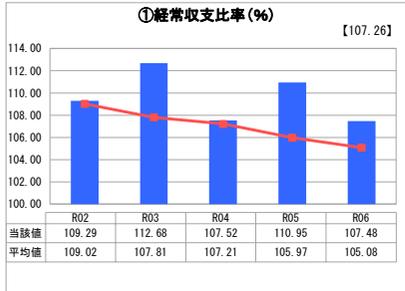
埼玉県 越生町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客産料金(円)	
-	95.68	99.78	3,465	

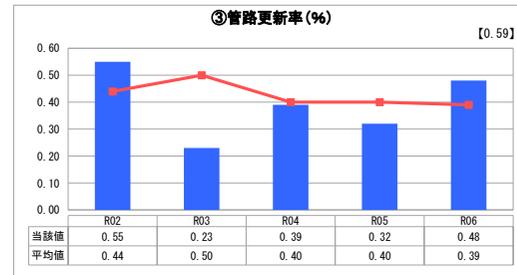
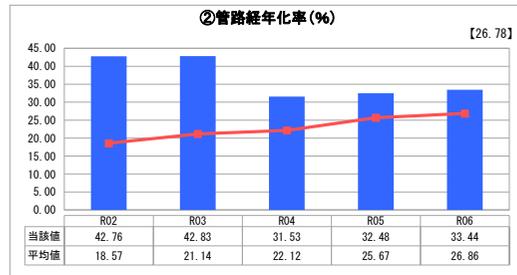
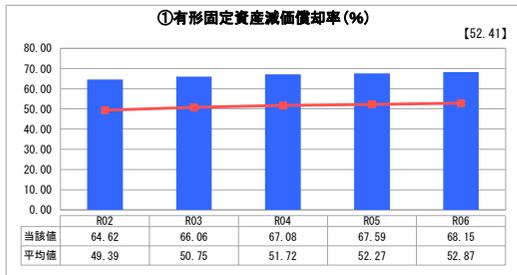
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,757	40.39	266.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
10,643	16.62	640.37

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率は、100%を超えているが、令和5年度以前と比較すると物価高騰などの影響を受け下降している。今後も物価高騰や人口減少などの社会情勢を注視しながら水道料金の見直しを検討する。
- ②平成27年度に料金改定を実施したことにより、経常収支が毎月黒字になっていることから累積欠損金は発生していない。
- ③流動比率は100%を超えていたが、老朽化している管路や施設の更新が必要であることから、流動比率に注視しながら事業を推進する。
- ④企業債残高対給水収益比率は類似団体及び全国平均と比較すると低い水準となっているが、老朽化している管路や施設の更新が先送りになっていることから今後計画的に更新を行う必要がある。
- ⑤令和3年度、令和4年度に新型コロナウイルス感染症対策として基本料金の免除を実施したことにより一時的に給水収益が減少し料金回収率は100%を下回ったが、令和5年度以降は新型コロナウイルス感染症対策を実施する前の水準に回復した。
- ⑥物価高騰の影響を受け給水原価は上昇傾向にある。また、漏水などの影響により類似団体と比較して高くなっている。
- ⑦施設利用率は類似団体平均及び全国平均を超えているが、人口減少や節水機器などの普及により給水収益が減少傾向であるため、適正な事業規模を検討していく必要がある。
- ⑧有収率は類似団体及び全国平均を大きく下回っている。漏水調査を実施し、有収率向上に努める。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率は類似団体及び全国平均と比較して高い水準となっている。計画的な更新を進める必要がある。
- ②管路経年化率は令和4年度に配水管布設替え工事を実施したことで大きく減少した。今後も計画的な更新工事を進める必要がある。
- ③管路更新率は類似団体と比較すると高い水準となった。対応年数を超える管路が多く、今後も計画的に更新を進める必要がある。

全体総括

経常収支比率は100%を超えているが、人口減少や節水機器の普及に伴い給水収益が減少することが見込まれる。これに対する支出については、物価高騰の影響を受け増加することが見込まれている。浄水方法等を含めた根本的な運営の見直しを図り、経費削減を推進しなければならない。また、現行の水道料金は平成27年を最後に見直しを行っていないため、水道事業の経営状況や社会情勢を注視し、料金改定の検討を行う必要がある。

施設の更新については、耐用年数を超える施設や管路の増加が顕著であるため、計画的に更新を行う必要がある。